

第144話 石沢太惣治の参詣日記 その3 中山町 歴史散策

石沢太惣治の伊勢参詣旅程（弘化2年）

月日	旅先及び滞在地	月日	旅先及び滞在地
正月5日	長崎出立 上山泊り	3月27日	八瀬、倉間、上加茂より
〃 10日	須賀川		京都着
〃 14日	日光山 16日まで滞在	4月2日	京都滞在 7日間
〃 20日	江戸日本橋 信濃屋着	〃 3日	保津より有馬、須磨寺へ
	26日まで滞在	〃 9日	高砂
〃 26日	江戸出立 鎌倉、28日まで滞在	〃 11日	琴平
〃 29日	平塚、大吹雪に遭う	〃 13日	丸亀、岡山、姫路 3泊
2月2日	蒲原	〃 19日	丹後宮津へ向う
〃 10日	名古屋、牛頭天王惣社参拝	〃 22日	大江山、天の橋立より宮津着
〃 13日	伊勢山田着 21日まで滞在	〃 27日	今津、竹生島、長浜より米原へ
〃 22日	伊勢出立 尾鷲に向う	〃 28日	米原出立、5月5日信州松本着
〃 24日	尾鷲	5月7日	善光寺
〃 26日	新宮	〃 10日	野尻よりかささぎへ
〃 28日	那智山より本宮へ	〃 11日	柏崎よりしいや
〃 29日	湯ノ峯、3月3日まで滞在	〃 12日	出雲崎、寺泊、新潟
3月4日	湯ノ峯より南塩谷浦	〃 13日	芝田泊り
〃 9日	新三井寺、粉河、堺	〃 18日	沼沢、手ノ子、松原を経て赤湯
〃 10日	大阪	〃 21日	長崎
〃 12日	吉野		
〃 14日	奈良法隆寺		
〃 15日	宇治		
〃 19日	三井寺		

(全行程136日)

石沢太惣治の伊勢参詣の大旅行は、今日の暦でいうと2月の大寒の終わり、降雪もひとまず終わって、雪道が歩きやすくなった時期の出発でした。また、帰郷した時は、田植の最中でした。

この日記からみれば、格別信心が高じての伊勢詣りというよりも、多分に世情開眼的な意味合いが強く、旅に出るきっかけに伊勢皇太神宮があったと考えた方がよいように

※引用 中山町史 中巻 第10章第1節 庶民と信仰

にみえます。伊勢皇太神宮のほか、日記に載せられた参拝神社・寺院は100余を数え、見物箇所も、日光・江戸・京都・大阪・金刀比羅・大津・宮津・善光寺など20数か所、このうち江戸では市川九蔵、岩井半四郎らの芝居、大阪では沢村国太郎、坂東三津五郎の芝居を観ています。

私たち地域おこし協力隊です！ No.12

みなさんこんにちは。春の陽気が続くと、「そろそろタケノコや山菜の季節かな～」とすっかり山形の恵みに胃袋をつかまれている、協力隊です！

さて、協力隊も2年目に入りました。引き続き、旧柏倉九左衛門家、惣右衛門家を拠点に活動してまいります。得意なことを存分に生かし、中山での生活を味わいつつ、前向きに取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



左治木 悠子です。九左衛門家の資料整理や文化財の調査に明け暮れた1年でした。左の写真は、おひなさまの箱にメモを付けて整理している様子です。資料が膨大で、整理するのも大変ですが、2年目もがんばって進めたいと思っています。歴史や資料の面白みをわかりやすく伝える表現力を磨きたいなあ



前田 真莉子です。2年目は、九左衛門家の公開に向けてデザイン製作に取り組む予定です。写真撮影の腕を上げていきたいと思っています。上の写真は、ひなまつりのため、ひな飾りを出しているところです。繊細なものなのでとても気を使うんですよ